

## 駐日イタリア大使が災害科学国際研究所を訪問されました（2021/12/13）

テーマ：東日本大震災、防災・減災、歴史資料保存  
場所：東北大学災害科学国際研究所（宮城県仙台市青葉区）

2021年12月13日（月）15:00～15:50、駐日イタリア大使 Gianluigi Benedetti 氏、および科学技術担当参事官 Enrico Traversa 氏が災害科学国際研究所を訪問され、今村文彦所長による研究所紹介、川内淳史准教授（歴史文化遺産保全学分野）による歴史資料保存活動の紹介を行いました。

まず今村所長がエントランスの展示スペースにて、当研究所の設立経緯や、理学・工学・医学・文学等の分野における様々な研究活動や実践活動について紹介しました。続いて川内准教授が歴史文化遺産保全学分野にて、東日本大震災や2019年台風19号で被災した歴史資料の保全・修復活動の現場を案内し、ボランティアの方々の作業の様子をご覧いただきました。また、資料保全活動がイタリアの災害時も含めた文化財のリスク把握の取り組み・文化財危険地図システムなどから学んでいることも説明しました。

当研究所ご訪問の調整および資料保全活動に関する通訳は、中鉢奈津子特任准教授（広報室）が担当しました。大使・参事官から、活動に対して多くの質問やコメントをいただきました。



今村所長による研究活動の紹介



川内准教授による歴史資料保全活動ご案内  
（ボランティアの方々の作業）